

時の記念日100周年企画「時研究の最前線」展示の制作（19014） 事業報告

I 事業の内容

時の記念日 100 周年企画 「時間研究の最前線」展示の製作

2. 事業の概要

2020 年の時の記念日 100 周年を契機に、国立科学博物館や明石市立天文科学館では、時に関する企画展「時」展覧会 2020 を開催した。本企画展で制作する図版は全国巡回展として提供できるようにした。本助成では、企画展の構成要素のひとつである「時間研究の最前線」について、有識者ととも展示内容の製作をおこなった。

3. 申請者の氏名・年齢・組織名・職名

明石市立天文科学館 館長 井上 毅 (51 歳)

4. 事業の実施場所及び実施期間

明石市立天文科学館 2019 年 7 月～2020 年 3 月

5. 事業の具体的実施内容及び方法

「時」展覧会2020にかかる展示内容を検討するため、実行委員会を立ち上げた。

実行委員は、以下のとおり。（役職は2019年度）

明石市立天文科学館 館長 井上毅

情報通信研究機構 理事 細川瑞彦

日本時計協会 専務理事 山本尚

日本時計協会 事業部長 岸良一

山口大学時間学研究所所長 藤澤健太

時計雑誌編集者・ライター 高井智世

国立科学博物館 洞口俊博

国立科学博物館名誉館員 佐々木勝浩

会議 スケジュール

■第1回 視察及び会議

日時 2019年7月17日 13時～17時

会場 情報通信研究機構（東京都小金井市）

内容 展示企画経緯説明と委員の紹介 NICT 本部 視察

■第2回 視察及び会議

日時 2019年9月19日

会場 セイコーミュージアム（東京都墨田区）

内容 ミュージアム見学

企画会議（展示構成の整理、スケジュールの確認等）

■第3回 視察及び会議

日時 2019年10月28日

会場 明石市立天文科学館（兵庫県明石市）

内容 展示室見学

企画会議（各委員の報告と展示レイアウトと内容の議論等）

■第4回 会議

日時 2019年11月25日

会場 国立科学博物館（東京都台東区）

内容 説明文章の整理、展示品の選択、印刷物についての議論

■第5回 会議

日時 2020年1月20日

会場 日本時計協会（東京都千代田区）

内容 展示資料の提出と校正スケジュールの確認

■第6回 会議

日時 2020年3月3日

会場 国立科学博物館（東京都台東区）

内容 展示スケジュールの確認、新型コロナウイルス感染症の影響について

■展示解説リーフレットの作成（3月）別紙のとおり

■時の記念日100周年企画展「時」展覧会2020

新型コロナウイルス感染症の影響で、会期が変更になったが、下記のとおり実施した。

国立科学博物館 2020年6月5日～7月12日

明石市立天文科学館 2020年6月2日～7月12日

（プレスリリース参照）

■全国科学博物館協議会 巡回展として提供をおこなった



報道関係各位

時の記念日 100 周年企画展 「時」 展覧会 2020 開催のお知らせ

国立科学博物館（館長：林 良博）は、2020（令和 2）年 6 月 5 日（金）から 7 月 12 日（日）までの期間、下記のとおり、**時の記念日 100 周年企画展 「時」 展覧会 2020** を開催いたします。

6 月 10 日の「時の記念日」は、1920 年に東京教育博物館（現在の国立科学博物館）で開催された「時」展覧会が大人気になったことがきっかけとなり誕生しました。2020 年は「時の記念日」100 周年にあたります。本展では、当時を振り返るとともに、今日まで続く日本の時計技術の歩みと「時」に関する最新の研究を紹介し、私たちに身近な「時」について改めて考える機会をご提供いたします。

つきましては広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

記

【会 場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）

日本館地下 1 階多目的室、地球館 2 階常設展示室内

【開催期間】2020（令和 2）年 6 月 5 日（金）～7 月 12 日（日）

【開館時間】9:00～17:00

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

一般・大学生：630 円、高校生以下および 65 歳以上無料

【入館方法】新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施します。

※入館にあたっては、WEB での事前来館予約が必要となります。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※多目的室会場は、常時入場定員を設けます。

入館方法の詳細等については、当館ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【休 館 日】毎週月曜日、6 月 22 日（月）～26 日（金）（害虫駆除のためのくん蒸期間）

【主 催】国立科学博物館、明石市立天文科学館、日本時計協会

【協 力】情報通信研究機構、カシオ計算機、シチズン時計、セイコーウオッチ、セイコーエプソン、セイコークロック、セイコーミュージアム、リズム時計、日本時間学会、山口大学時間学研究所

【資料協力】海上保安庁、国立天文台、郵政博物館

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：飯岡

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9840、FAX：03-5814-9898、E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

展示監修者



明石市立天文科学館 館長

井上 毅 (いのうえ たけし)

日本標準時子午線の真上に立つ明石市立天文科学館の学芸員。専門は天文普及。同館の開館日であることから「時の記念日」に興味を持ち、その魅力に惹かれて調査研究を続けています。



情報通信研究機構 主席研究員

細川 瑞彦 (ほそかわ みずひこ)

専門は物理学。通信総合研究所入所以来、主として時空計測や原子時計の研究開発に従事。光の原子時計や超小型原子時計の研究開発についてはその初期から体験してきました。



日本時計協会 専務理事

山本 尚 (やまもと たかし)

時計事業展開における「次世代育成関連事業」として次世代を担う若手技能者の育成、産学共同事業、被災地復興支援・時計組立教室などの公益性の高い活動を通して業界のすそ野を広げる事に注力しています。



日本時計協会 事業部長

岸 良一 (きし りょういち)

日本の時計産業の総合的な発展を目指して、時計に関する統計情報の収集・分析、安全で快適な消費の促進、時計産業に関わる国際交流の推進といった活動に取り組んでいます。



山口大学時間学研究所 所長

藤澤 健太 (ふじさわ けんた)

山口大学附属の時間学研究所所長を務めています。専門は天文学ですが、時間にかかわる様々な研究を、時間学として体系化する取り組みも行っています。



時計雑誌編集者・ライター

高井 智世 (たかい ともよ)

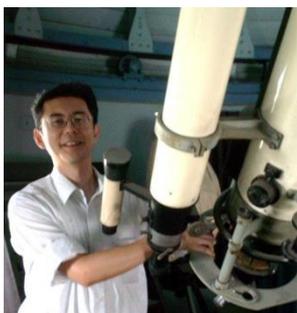
古時計の時計修理工房や、「時の記念日」とつながり深い近江神宮の時計学校で時計の基礎を学んだのち、高級腕時計専門誌の編集者・ライターへ転身。時計から時、時間に興味を広げ、その面白さを追究しています。



国立科学博物館 名誉研究員

佐々木 勝浩 (ささき かつひろ)

専門は、和時計、塔時計、天文時計。和時計は、江戸時代に、日本の時計師によって作られた機械時計です。和時計の他、ヨーロッパの公共時計としての塔時計、特に天文時計に興味があり、それらの機構や歴史について調べています。



国立科学博物館 理工学研究部 理化学グループ研究主幹

洞口 俊博 (ほらぐち としひろ)

専門は天文学・宇宙科学。高温の星をとりまいているガスを測光観測や分光観測を行うことによって調べています。最近観測データのアーカイブシステムやそれを生かした天文教材の開発などにも力を注いでいます。